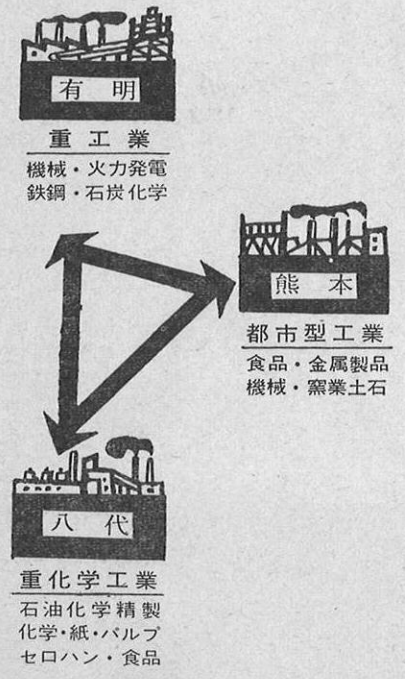


おり、また、石炭利用の大規模な火力発電所の建設も具体化の方向にあります。この二つを柱として、鉄鋼、石炭化学、機械工業等の重工業の基地として開発を進めます。

**南部は重化学工業 八代地区**  
 南部の「八代地区」は、豊富な石灰石、木材資源、農産資源等を利用する資源立地型、用水型の産業をはじめ、石油精製、石油化学コンビナートを中心とする重化学工業を誘致します。

**中央部は都市型工業で：**  
**熊本地区** 地域の中心に位置する「熊本地区」は、両地区の工業生産を補う下請的工業、または電子工業、機械工業、食料品工業、建材工業などの都市型工業の開発をはかります。  
 色でいうならば鉄と石炭に代表される「有明地区」は「黒」、セメント、紙、そして石油精製化学のパイプラインが輝く、「八代地区」は「白」。そして森の都にふさわしい「熊本地区」の内

三地区が持味を生して……



陸型中規模工業は「緑」というところでしょう。このように各地区の特性をいかした工業が密接な結びつきをもつて順調に発展すれば、昭和四十五年に三千七百億円（昭和三十五年の七・四倍）の工業生産をあげる見込みです。

このような開発にもなつて、地域総人口も昭和四十五年には百十七万人（昭和三十五年の一・三倍）に達する見込みです。

問 すればらしい百万都市が出現するわけですね。

答 そうです。このような開発の考え方からみても、前にお話したように、この地域の広さは決して広すぎることはないと思いま

問 いろいろな施設を建設する計画はどうなっているのですか。

答 近代的な工業地帯と、健康で文化的な都市建設が基本的な考え方です。

工場用地では、有明地区のうち、長洲地区第一期計画埋め立て工事が、今年の二月下旬から始められ、八代地区は、港湾



工場の新設つぎつぎと……熊本市周辺をはじめ、熊本から川尻、富合、宇土に至る国道3号線の沿線は、いま工場の新設ブーム。広い用地、便利な輸送、豊富な原材料と労働力などが大きな魅力となつて、食料品工業、機械工業など、いわゆる「都市型工業」が続々と進出してきた。写真は国道3号線と、完成したN食品工場。

計画とタイアップして、内港地区、外港地区の埋め立てが進められています。

内陸工業用地は大体埋め立て地の背後と、熊本市から宇土市までの一級国道三号線ぞいの用地を考

道路や鉄道、港湾も着々と

道路は、一級国道三号線、五十七号線、九州横断道路、それに二級国道各路線、区域内の各連絡道路の整備をはかるとともに、九州縦貫高速自動車道の早期着工を促進します。

えています。

工業用水道は、豊富で良質な水を誇る球磨川を水源とする八代工業用水道と、菊池川を水源とする有明工業用水道を考えておりま

鉄道は、鹿児島本線の久留米―八代間の一貫複線化と電化を促進するとともに、八代、荒尾、長洲等主要駅の改良と長洲、八代の臨港鉄道の建設が必要です。

港湾は、八代港の整備をはじめ

問 長洲及び荒尾港の修築をはかるとともに、熊本地区の玄関港である三角港を整備しなくてはなりません。

又、都市施設については、人口増加に見合う住宅建設と宅地開発を計画すると共に、上下水道、都市街路、公園緑地等を計画しなくてはなりません。

更に人口増加に応じて、小中学校、高校その他の教育施設とか、医療施設、社会施設、職業訓練所の整備拡充をはかって行くことになります。

問 実に夢多い「有明不知火地域」ですね。

答 しかし、新産業都市の建設は工業開発が中心になつていようですが、工場がたつと、ばい煙や汚水など、住民にとって迷惑なことがおきてくるのが予想されますね。この点はどうでしょう。

問 たしかにそのような問題が生ずる場合も考えられるのですが、新産業都市建設の目的は、既成工業地帯のゆきづまった点、悪い面を解消するところにあるわけで、そのような近代化的な工業都市、快適な生活環境をつくるのが基本的な考え方となつています。

ですから、有明不知火地域の開発に際しても、その点は十分考えて、適正な工場配置ということに、十分意を用いて行きたいと考えています。又、緑地公園なども十分にとり入れて、きれいな生活環境をつくるよう考えています。

なお、産業公害防止については、法的規制のほかに、工場自体の努力も必要ですが、収塵、排水その他の防除設備もよくなつておりますので、心配は少なくなつていきます。

農業も高度なものに

生産農家の収入はふえる

問 それを伺って安心しました。しかし、工業化、都市化がどんどん進んでいくと、農業はとり残されるということになりますね。

答 なるほど、一般には工業化都市化がすすむれば、農業は片すみには追いやられて、衰退するのではないかとこの心配があると思えます。

既存の工業地帯周辺の農村では、一部にいろんな混乱が起きていて、ところもあります。これらは無計画な工業化や都市化によって起つたものが大部分です。

そこで「有明不知火地域」の場合、そのようなことのないよう、工業と農業が調和のとれた形



工業用水も大丈夫……菊池川、加勢川、球磨川等の河川水、あるいは地下水は、良質で豊富な水量を誇り、工業用水として太鼓判を押されている。写真は空からみた球磨川。遙拝堰と鹿児島本線の鉄橋が見える。